



若手医師を米国のがん研究施設に派遣

2016年度RFLマイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞 公募開始



2016年4月にアメリカンセンターJapanホールで行われた2015年度授賞式の様子
(左から) テキサス大学MDアンダーソンがんセンターの上野直人教授、シカゴ大学医学部のケネス・コエン教授、
受賞者の及川将弘さん、鳩貝健さん、岩瀬俊明さん、日本対がん協会の垣添忠生会長

若手医師のための米国留学研修プログラム

公益財団法人日本対がん協会は平成28年7月1日付で、米国テキサス大学MDアンダーソンがんセンター（以下MDアンダーソン）もしくはシカゴ大学医学部（以下シカゴ大）において、1年間研修を受ける若手医師の公募を開始します。

本年度の募集人数は、MDアンダーソン2名、シカゴ大1名です。奨励金として1人250万円を支給します（渡航費を含む）。

希望者は「日本対がん協会」または「リレー・フォー・ライフ」の公式ホームページから申請書をダウンロードし、必要事項を記入して郵送してください。日本対がん協会内に設けた助成審査委員会で1次選考し、MDアンダーソンならびにシカゴ大側で2次選考をします。

締め切りは平成28年10月31日（消印有効）です。

※詳細は裏面をご覧ください

意欲あふれる方々からのご応募をお待ちしております

RFLマイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞とは

たくさんの方々の思いをのせた留学プログラムです

日本対がん協会が、各地の実行委員会とともに開催している「リレー・フォー・ライフ」に寄せられた寄付金をもとに、地域のがん医療の充実を図るために2010年度に設けられた、米国における1年間の留学研修プログラムです。

米国有数のがん専門病院であるテキサス大学MDアンダーソンがんセンターの協力と、一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクトの支援のもとにこれまで9名の若手医師を米国に送り出してきました。2015年度受賞者3名を含めると合計12名の若手医師を送り出すこととなります。



今年度で7回目となる「RFLマイ・オンコロジー・ドリーム」奨励賞

このプログラムは、「RFLマイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞」と名付けた奨学制度で、日本での臨床試験の推進および地域がん医療の拡充に貢献できる若手医師の育成が目的です。MDアンダーソンの協力をいただき、一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクトの支援を受けて、MDアンダーソンの上野直人教授のアドバイスのもとに、2010年度にスタートいたしました。

これまで12名※の若手医師を、米国トップレベルのがん研究機関に派遣

※うち3名は今秋渡航予定

MDアンダーソンがんセンターは開設以来74年余の歴史を有し、全米No.1と評されているがん専門医療施設です。また、シカゴ大学医学部は、88年の歴史の中で、ノーベル医学・生理学賞を11人輩出した全米屈指の大学です。いずれの施設も、基礎と臨床が融合した臨床研究を推進し、世界のがん医療を牽引しています。

がん患者・家族の支援のために

がん患者・家族の方々の支援には、がん医療を充実させることが重要です。広い視野をもち、強いリーダーシップのもと患者・家族に寄り添える医師の養成が欠かせません。

MDアンダーソンならびにシカゴ大での研修は、欧米に比べて遅れていると指摘される臨床試験の推進を中心に学んでもらう予定です。もちろん、患者・家族とのコミュニケーションなど、患者を中心とした医療システムに触れてもらうことも重要だと考えています。米国で学んだことを日本の各地の実情に応じて工夫し、患者中心の、真にEBMに基づく医療を根付かせてほしい、そんな願いをこめています。

「がん医療」の充実を目指して・・・奨励賞受賞者の「マイ・ドリーム」

※所属はいずれも受賞時



2015年度受賞者 <テキサス大学MDアンダーソンがんセンターへ派遣>
千葉大学附属病院臓器制御外科 岩瀬俊明医師の「マイ・ドリーム」

臨床試験のやり方、企画・実践について学び、日本に戻ったら地域の実情に合った医療として還元したい。患者さんの思いを原動力に、世界標準の治療を地域に広げたい



2015年度受賞者 <テキサス大学MDアンダーソンがんセンターへ派遣>
にゆうわ会及川病院乳腺外科 及川将弘医師の「マイ・ドリーム」

乳がん治療では医師不足が深刻で、多くの患者が市中の病院で治療を受けている。世界最高水準の乳がん治療を学び、帰国後は仲間と共にわが国の現状にあった乳がん治療・研究システムを構築したい



2015年度受賞者 <シカゴ大学医学部へ派遣>
国立がん研究センター東病院消化内科 鳩貝健医師の「マイ・ドリーム」

アジアでは比較的頻度が高いものの国際的な治療開発から取り残されている食道がんのような「アジアがん」。その治療開発に応用・貢献できるように広く学びたい

日本全国の「リレー・フォー・ライフ」寄付をもとに運営

運営の資金は、がん征圧・患者支援の「リレー・フォー・ライフ」に寄せられる寄付です。資金を募るため、日本対がん協会が、各地のボランティア実行委員会と一緒に開催しています。

今年は「リレー・フォー・ライフ」が日本にやってきて10周年、全国約50か所で開催の予定です。



日本対がん協会HP: <http://www.jcancer.jp/>

リレー・フォー・ライフHP: <http://relayforlife.jp/>

マイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞に関して: <http://relayforlife.jp/donate/project3>